

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	③-3	実施計画番号		事業開始年度	平成20年度
事務事業名	有料広告の拡充			事業終了年度	
担当課名	総務課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	十和田市有料広告の掲載に関する要綱		関連事務事業		
背景や経緯等	市の資産を広告媒体として活用し、新たな財源の確保とともに市民サービスの向上と地域経済の活性化を図る。				
事務事業の目的	人目の付く場所等を活用した有料広告の拡充				
実施状況	各広告媒体について、事前に広告パートナーへ先行募集をかけ、広告パートナーの応募で掲載枠に満たない場合には一般募集を行った。「広報とわだ」「十和田市すこやか長寿を祝う会資料冊子」についてはある程度、掲載枠が埋まったものの、それ以外の媒体については有効に広告枠を使うことができなかった。				

【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)	1	1	1
	活動日数(日)	20	20	20
	人件費(千円)	720	720	720
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)			
	活動日数(日)			
	人件費(千円)			

【事業費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)		0	0	0

【指標】

活動指標	活動指標名①		広報とわだ有料広告掲載数			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
	年間の広告枠数96枠		枠	66	87	96
	活動指標名②					
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
成果指標	成果指標名①		広報とわだ有料広告掲載料			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
	1枠×18,000円	千円	目標値	1,218	1,218	1,218
			実績値	1,296	1,452	
			達成度(%)	106%	119%	
	成果指標名②					
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	①	市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">広報とわだに関しては掲載数、掲載料ともに順調に推移している。事務事業の見直しについては、新たな広告媒体の掘り起し等、検討の余地がある。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	広報とわだに関しては掲載数、掲載料ともに順調に推移している。事務事業の見直しについては、新たな広告媒体の掘り起し等、検討の余地がある。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
広報とわだに関しては掲載数、掲載料ともに順調に推移している。事務事業の見直しについては、新たな広告媒体の掘り起し等、検討の余地がある。										
②	実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2	4					
有効性	③	活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">1 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">広報とわだに関しては掲載数、掲載料ともに順調に推移している。事務事業の見直しについては、新たな広告媒体の掘り起し等、検討の余地がある。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	1 / 6	広報とわだに関しては掲載数、掲載料ともに順調に推移している。事務事業の見直しについては、新たな広告媒体の掘り起し等、検討の余地がある。	
	成果向上の余地	1 / 6								
	広報とわだに関しては掲載数、掲載料ともに順調に推移している。事務事業の見直しについては、新たな広告媒体の掘り起し等、検討の余地がある。									
④	成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	5					
⑤	事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B	1						
効率性	⑥	事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費はかかっている。事務事業の性質から民間委託等は馴染まない。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	事業費はかかっている。事務事業の性質から民間委託等は馴染まない。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	事業費はかかっている。事務事業の性質から民間委託等は馴染まない。									
⑦	他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6					
⑧	民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2						
公平性	⑨	受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	B	1	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">1 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">広告パートナー登録制度や有料広告事業は幅広く掲載希望者を募集する制度となっているものの、特定の企業の応募が多くなっている。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	1 / 4	広告パートナー登録制度や有料広告事業は幅広く掲載希望者を募集する制度となっているものの、特定の企業の応募が多くなっている。	
	受益者負担適正化の余地	1 / 4								
広告パートナー登録制度や有料広告事業は幅広く掲載希望者を募集する制度となっているものの、特定の企業の応募が多くなっている。										
⑩	受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2	3					
現在の適性					18 / 20	改善の余地	2 / 20			

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **18** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **2** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要 ⇒

有効性を改善して継続

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

現在はほとんど特定の広告媒体でしか広告収入を得ることができていないため、既存の広告媒体についての再検討と新たな広告媒体の掘り起し等について検討の余地がある。

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

魅力のある新たな広告媒体の掘り起し、支出削減効果のある現物寄附、ネーミングライツに関する導入の可否について検討していく。